

情報管理技術者／セキュリティ管理技術者認定制度

本制度は、2000年（平成12年）に「ComputerReport 誌の創刊40周年」を記念し、日本経営科学研究所、情報管理協会、多くのソフトウェア研究機関の協力で始められた技術者育成／認定事業で、次の3つの活動作業が行われてきています。

（1）社会に貢献できる情報管理技術者／セキュリティ管理技術者育成／認定とそのためソフトウェア研修コースを認定する。

（2）社会に貢献できるソフトウェア研修コースの合格者／修了者を情報管理技術者／セキュリティ管理技術者を認定し、認定証を授与する。

（3）情報管理技術者／セキュリティ管理技術者認定者の名誉をたたえ、資格取得者の氏名を公表する。

株式会社日本経営科学研究所
情報管理協会

ソフトウェア研修コース認定事業の実施について

2000年にComputerReportの創刊40周年を記念する事業の一環として、日本経営科学研究所は情報管理協会および多くのソフトウェア研修機関と共同して、情報化社会への一定レベルの貢献度を保有していると認められるソフトウェア研修コースの合格（修了）者を「情報管理技術者およびセキュリティ管理技術者として認定」する制度を発足させることと致しました。

情報処理および情報システムに関わる人材は、急激な技術革新のただ中で、常に新しい技術習得に日々精進してきております。また各ソフトウェア・プロダクトを提供する関係事業機関にしても、そうした技術習得を目指す人材に対して、実に様々な技術習得と人材育成機会を準備し、努力研鑽してきております。

しかし、技術習得にいそしむ人材に対しても、一方新しい技術を提唱し、その普及に勤しむ関係事業機関に対しても、一般社会からの認識と評価は、到底、正当なものだとは言えない実情にあります。

そこで日本経営科学研究所および情報管理協会では、こうした先進的な情報処理関連の技術／技法／手法の習得のチャンスを提供している関係事業機関（企業、研究所等）の情報処理関連技術研修コース合格者（修了者）を、社会進歩に貢献する人材であることを正當に評価し、これを「情報管理技術者」「セキュリティ管理技術者」として認定することを決意した次第です。

これまでの認定者

皆様のご理解とご協力により、これまでの間に300名を越える認定をしてきております。こうした事業は、当該ソフトウェア技術／技法／手法の社会的評価の向上に寄与するだけでなく、その修得者である情報管理技術者、セキュリティ管理技術者、情報システム運用管理技術者の社会的位置の再確認と地位向上につながるものと確信致しております。